



# Discover

大分三愛メディカルセンター 消化器病・内視鏡センター 医療連携機関向け広報誌

2021.7 vol.03

大分三愛メディカルセンターでは、5月上旬より新型コロナウイルス陽性患者の受入れ体制を拡大し、いわゆる「コロナ第4波」への対策を余儀なくされました。それに伴い、通常の患者さまを受け入れる体制に制限が発生し、地域の先生方にもご迷惑をおかけしました。6月末現在、先生方のご支援もあり、大分県内では感染状況は下火となっております。

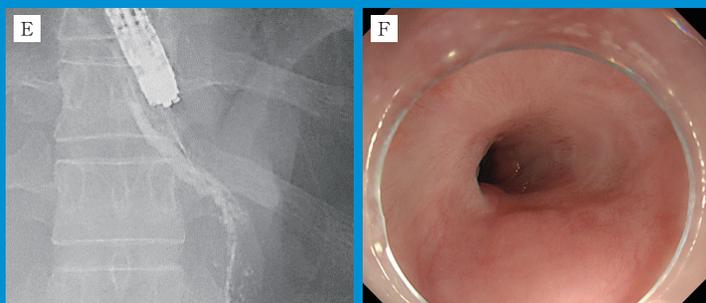
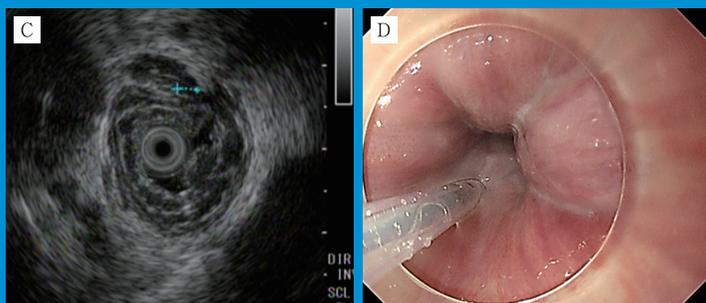
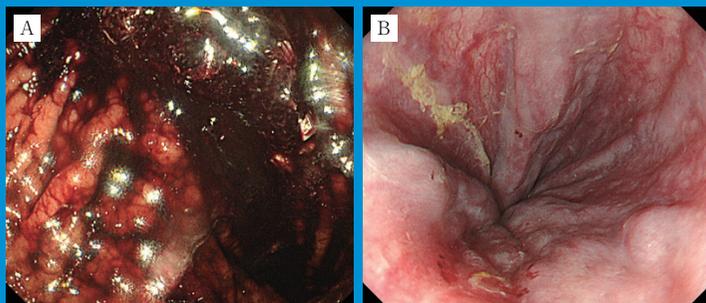
これを機に、病院としても7月より、徐々に通常の診療体制に戻しております。これまで同様、先生方との密な連携を図っていければと考えております。

今回の内容は、食道静脈瘤に対しての内視鏡治療についてです。今後も多くの症例をご紹介しますので、ご高覧いただければ幸いです。

大分三愛メディカルセンター/消化器病・内視鏡センター長 錦織 英史

# Discover Case.3 食道静脈瘤に対する 内視鏡的静脈瘤硬化療法 (EIS:EO法)

(EIS: Endoscopic Injection Sclerotherapy)



A 緊急内視鏡時の胃内血液貯留  
B 治療前の食道下部内視鏡画像  
C EUS (miniature probe) による静脈瘤治療前評価  
D EIS (穿刺・注入) 中の内視鏡画像

E EIS (穿刺・注入) 中の透視画像  
F 治療後の食道下部内視鏡画像

[40歳代・女性]

アルコール性肝硬変で他院にて治療歴があった。飲酒を継続していたところ、新鮮血を吐血したとして救急要請し、救急外来に搬送となった。緊急上部消化管内視鏡検査を行い、食道静脈瘤および胃内の血液貯留を認めるも出血源が同定できず、SB-tubeを留置しつつ輸血により急場を凌いだ。落ち着いた後に待機的に内視鏡精査を行い、発達した食道静脈瘤を確認し、EUSでは壁在傍食道静脈(Peri-v)の発達と、食道壁を貫通する血管(PV)を認めた。再出血リスクが高いと考え、内視鏡的静脈瘤硬化療法を計画した。透視下に硬化剤(5%EoI;EO with iopamidol)を静脈瘤内に注入し、噴門静脈叢および供血路(左胃静脈)まで注入が確認できた。週1回の治療を2回行い、問題なく退院した。治療後、外来での内視鏡フォローアップでは静脈瘤の完全消失が確認できた。患者様はその後、再出血なく経過できた。

[適応/出血リスクのある食道静脈瘤]

- ・出血後の症例
- ・出血リスクの高い症例(red color sign、F2以上の太さ)
- ・進行した肝不全・腎不全ではない
- ・肝臓癌のコントロールが可能な症例
- ・EUSで壁在傍食道静脈(Peri-v)が発達している

## 今回の機器

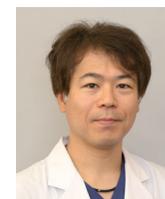


[主な使用デバイス]  
・内視鏡 (GIF-H290T; Olympus®)  
・穿刺針 (ハリクサー-25G; TOP®)



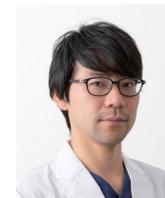
## 消化器内科医師のご紹介

当院は指導施設および関連施設に認定されています。  
指導施設認定: 日本消化器内視鏡学会、日本胆道学会、日本膵臓学会  
関連施設認定: 日本消化器病学会



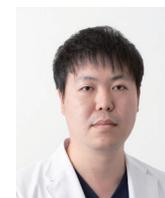
消化器病  
内視鏡センター長  
**錦織 英史**  
大分大学卒(2004年)  
[専門分野]  
消化器内科(内視鏡)  
胆膵内科

[認定資格]  
日本消化器内視鏡学会  
日本膵臓学会 認定指導医  
日本胆道学会 認定指導医  
日本消化器病学会 専門医  
日本内科学会 認定産業医  
大分大学医学部臨床准教授



消化器内科部長  
**佐上 亮太**  
防衛医科大学卒(2010年)  
[専門分野]  
消化器内科(内視鏡)  
胆膵内科

[認定資格]  
日本内科学会 認定内科医  
日本消化器病学会 専門医  
日本消化器内視鏡学会 専門医



消化器内科医師  
**佐藤 孝生**  
大分大学卒(2012年)  
[専門分野]  
消化器内科

[認定資格]  
日本内科学会 認定内科医  
日本消化器病学会 専門医

ご紹介連絡先

ひとに笑顔を ちいさな「愛」を  
**大分三愛メディカルセンター**  
地域連携センター TEL.097-542-7404

〒870-1151  
大分市大字市1213番地  
TEL.097-541-1311  
www.san-ai-group.org

